

株主の皆さまへ

平成26年度中間期

当社の近況

平成26年4月1日～平成26年9月30日



株式会社 **中電工**

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、平成26年度中間期（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の決算を行いましたので、その状況をご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、政府による各種経済対策の効果や米国の景気回復などを背景に円安・株高基調が継続し、企業収益や雇用情勢の一部で改善が見られるなど、景気は緩やかな回復を続けてきました。

建設業界におきましても、公共投資が堅調に推移していることに加えて、民間設備投資も緩やかに増加してきました。

このような状況のもと、当社グループは、太陽光発電設備工事やリニューアル工事の需要を捉えた提案営業を強化するなど、営業・工事の各部門が一体となって積極的な営業活動を展開して受注の拡大を図るとともに、工事採算性の向上に向けた原価低減の一層の徹底などにより利益の確保に取り組んでまいりました。

この結果、売上高につきましては、太陽光発電設備工事が増加したことなどにより前年同期を上回ることとなりました。

営業利益につきましては、売上高が増加したことに加えて、原価低減の効果などにより前年同期を上回ることとなりました。

経常利益および中間純利益につきましては、営業外収益として計上した保有債券の早期償還に伴う償還益が減少したことなどにより前年同期を下回ることとなりました。

平成26年度中間期の業績は次のとおりです。

（連結業績）

売上高	609億	5千万円	（前年同期比	15.6%増）	
営業利益	30億5千5百万円	（	同	32.5%増）	
経常利益	67億	1百万円	（	同	11.6%減）
中間純利益	49億2千9百万円	（	同	19.9%減）	

中間配当金につきましては、創立70周年記念配当2円を含め、1株当たり12円とさせていただきました。

今後の経済見通しにつきましては、雇用環境の改善や各種経済対策などの効果から緩やかな回復基調が期待されるものの、個人消費の回復の遅れや円安の進行による内需企業の収益悪化などの懸念もあり、先行き不透明な状況で推移するものと思われまます。

こうしたなか、当社グループは、引き続きリニューアル工事の提案営業を強化するなど、地域営業網を活かした積極的な営業活動を展開して受注の拡大を図るとともに、工事採算性の向上に向けた原価低減の更なる徹底などにより利益の確保に取り組んでまいります。

本年10月1日、当社はおかげさまで創立70周年を迎えました。

当社が今日まで発展を遂げてこられましたのは、ひとえに株主さまをはじめとするステークホルダーの皆さまの長きにわたる変わらぬご愛顧と、ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

これからも当社は、中電工グループの一体感を高め、次の80年、90年、そして100年に向けて、新たなステージでの改革を目指すとともに、末永く信頼いただける企業として成長していく所存であります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも当社事業に格別のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成26年12月



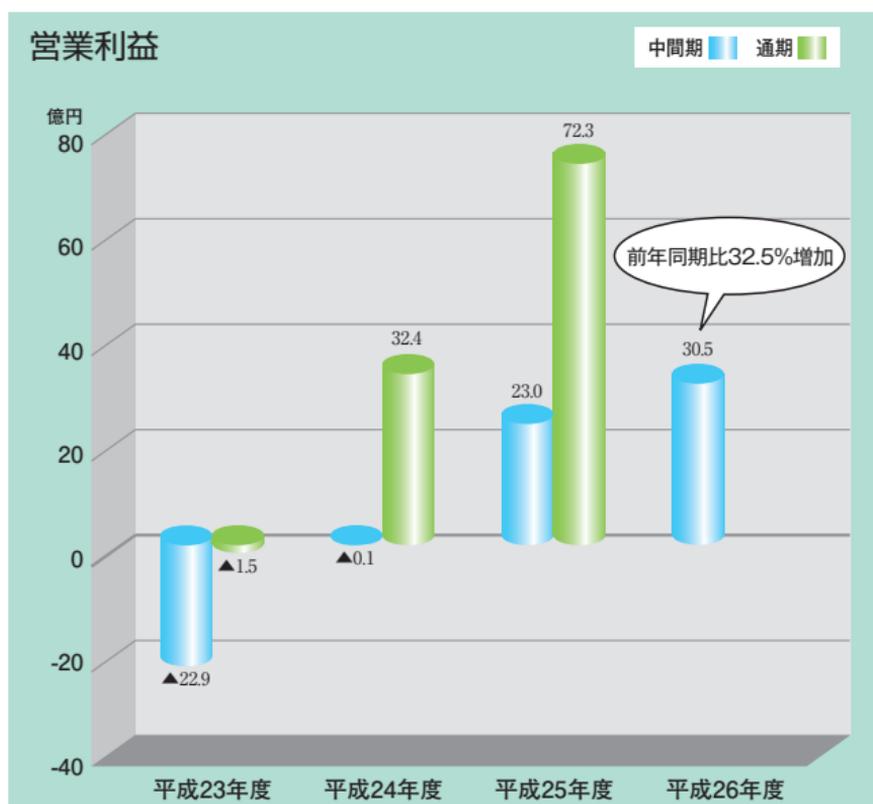
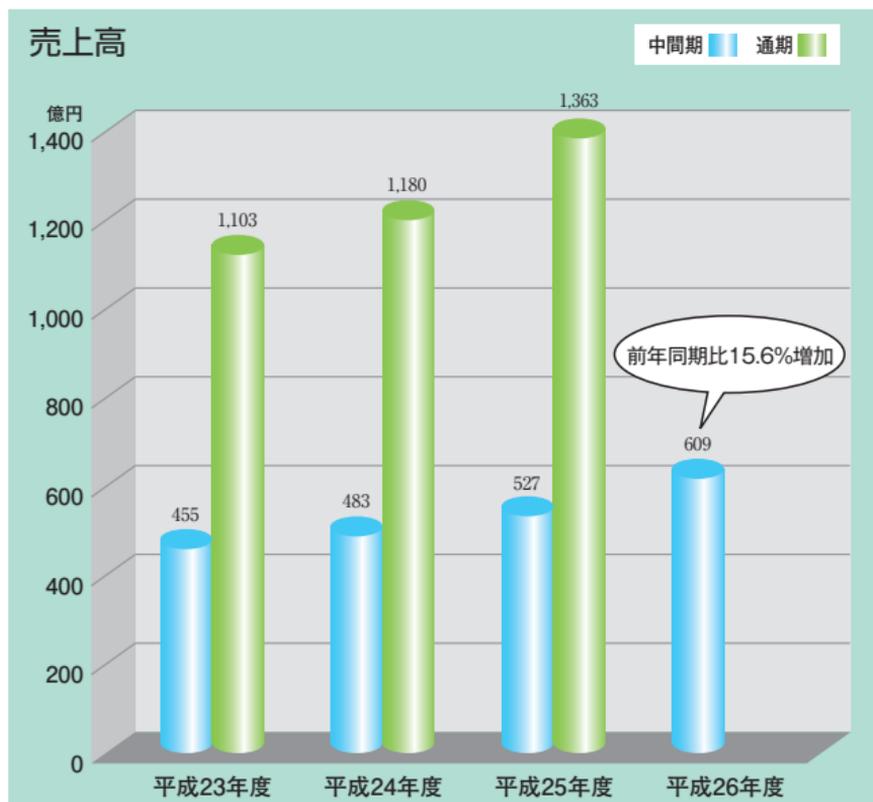
代表取締役会長
神出 亨



代表取締役社長
小畑 博文

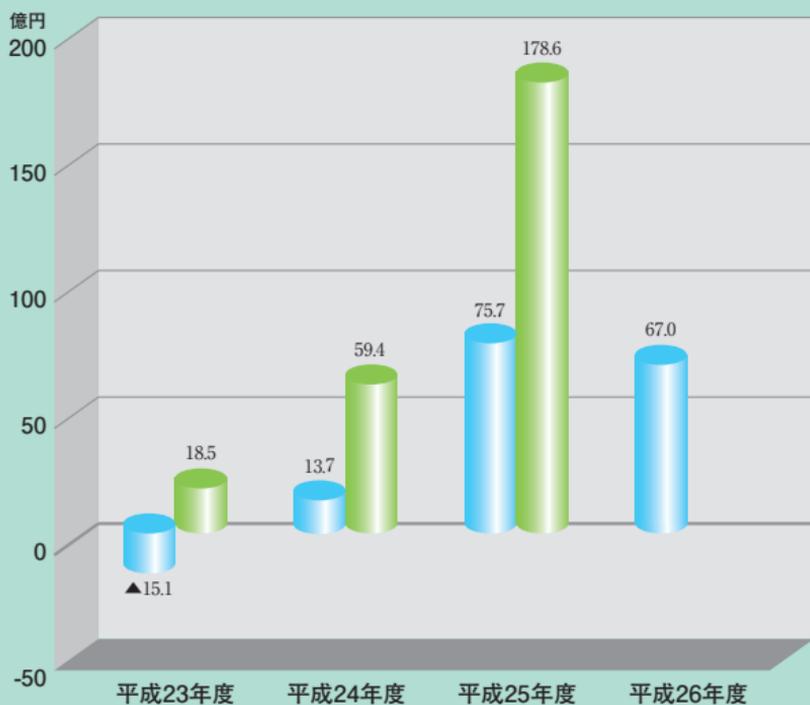


業績の推移（連結）



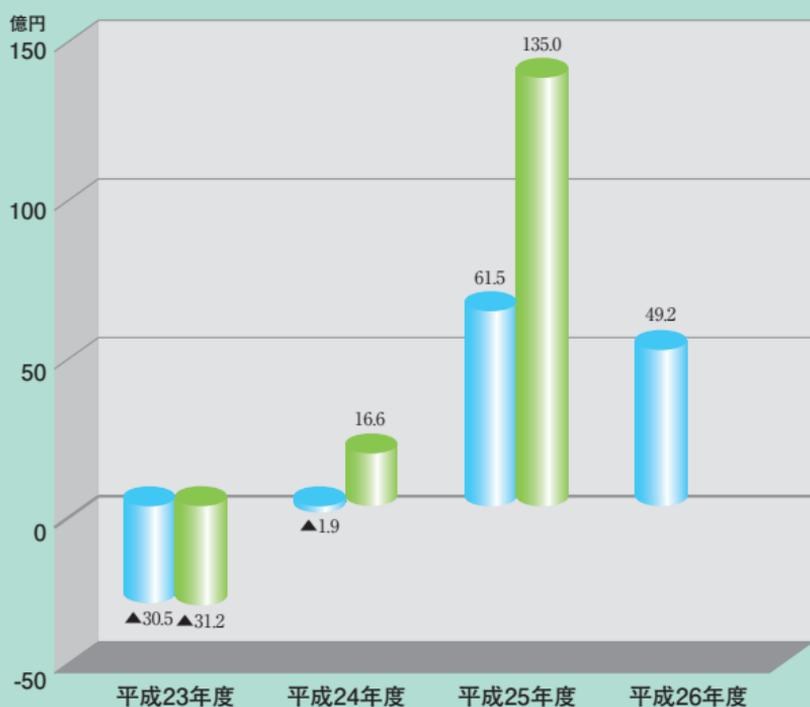
経常利益

中間期 通期



中間純利益・当期純利益

中間期 通期



※平成26年度より工事原価の計上方法の変更に関する会計方針の変更を行っているため、平成25年度については遡及修正後の数値を記載しております。



決算の状況

中間連結貸借対照表

(平成26年9月30日現在)

単位：百万円(未満切捨)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	103,010	流 動 負 債	30,400
現 金 預 金	22,843	支払手形・工事未払金等	20,069
受取手形・完成工事未収入金等	30,569	未 払 法 人 税 等	206
有 価 証 券	37,032	未 成 工 事 受 入 金	5,167
未 成 工 事 支 出 金	7,046	完 成 工 事 補 償 引 当 金	36
材 料 貯 蔵 品	433	工 事 損 失 引 当 金	187
商 品	1,234	そ の 他	4,732
そ の 他	3,952	固 定 負 債	8,888
貸 倒 引 当 金	△ 103	長 期 借 入 金	341
固 定 資 産	142,809	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	56
有 形 固 定 資 産	31,059	退 職 給 付 に 係 る 負 債	6,426
建 物 ・ 構 築 物	14,261	そ の 他	2,064
土 地	12,847	負 債 合 計	39,288
そ の 他	3,951	純 資 産 の 部	
無 形 固 定 資 産	943	株 主 資 本	191,903
投 資 其 他 の 資 産	110,806	資 本 金	3,481
投 資 有 価 証 券	97,897	資 本 剩 余 金	195
繰 延 税 金 資 産	1,210	利 益 剩 余 金	197,559
そ の 他	11,892	自 己 株 式	△ 9,333
貸 倒 引 当 金	△ 193	其 他 の 包 括 利 益 累 計 額	13,112
		其 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	12,623
		為 替 換 算 調 整 勘 定	16
		退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額	473
		新 株 予 約 権	90
		少 数 株 主 持 分	1,424
		純 資 産 合 計	206,531
資 産 合 計	245,820	負 債 純 資 産 合 計	245,820

中間連結損益計算書

(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

単位：百万円(未満切捨)

科 目	金 額	
売上高		60,950
売上原価		53,137
売上総利益		7,813
販売費及び一般管理費		4,757
営業利益		3,055
営業外収益		
受取利息配当金	1,203	
投資有価証券償還益	2,126	
その他	338	3,668
営業外費用		
支払利息	0	
災害事故関係費	8	
工具器具等処分損	3	
支払手数料	6	
その他	4	23
経常利益		6,701
特別利益		
固定資産処分益	0	0
特別損失		
固定資産処分損	55	
減損損失	49	105
税金等調整前中間純利益		6,596
法人税、住民税及び事業税	146	
法人税等調整額	1,458	1,605
少数株主損益調整前中間純利益		4,990
少数株主利益		61
中間純利益		4,929

中間貸借対照表（個別）

（平成26年9月30日現在）

単位：百万円（未満切捨）

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	96,799	流 動 負 債	26,105
現金預金	20,911	工事未払金	16,239
受取手形	5,250	未払法人税等	98
完成工事未収入金	22,283	未成工事受入金	5,093
有価証券	37,032	完成工事補償引当金	37
未成工事支出金	6,895	工事損失引当金	187
材料貯蔵品	432	そ の 他	4,449
そ の 他	4,066	固 定 負 債	9,189
貸倒引当金	△ 74	長期借入金	341
		退職給付引当金	7,062
		そ の 他	1,786
		負 債 合 計	35,295
		純 資 産 の 部	
固 定 資 産	141,035	株 主 資 本	189,866
建物・構築物	13,546	資 本 金	3,481
土 地	12,194	資 本 剰 余 金	195
その他有形固定資産	3,618	資 本 準 備 金	25
無形固定資産	891	そ の 他 資 本 剰 余 金	170
投資有価証券	96,731	利 益 剰 余 金	195,522
繰延税金資産	1,324	利 益 準 備 金	870
そ の 他	12,892	そ の 他 利 益 剰 余 金	194,652
貸倒引当金	△ 164	特 別 償 却 準 備 金	6
		固 定 資 産 圧 縮 積 立 金	1,992
		別 途 積 立 金	173,400
		繰越利益剰余金	19,253
		自 己 株 式	△ 9,333
		評 価 ・ 換 算 差 額 等	12,581
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	12,581
		新 株 予 約 権	90
		純 資 産 合 計	202,538
資 産 合 計	237,834	負 債 純 資 産 合 計	237,834

中間損益計算書（個別）

（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

単位：百万円（未満切捨）

科 目	金 額	
売 上 高		
完成工事高		56,201
売 上 原 価		
完成工事原価		49,872
売 上 総 利 益		
完成工事総利益		6,328
販売費及び一般管理費		3,655
営業利益		2,672
営業外収益		
受取利息配当金	1,217	
投資有価証券償還益	2,126	
その他の	337	3,681
営業外費用		
災害事故関係費	6	
工具器具等処分損	0	
その他の	2	9
経常利益		6,344
特別利益		
固定資産処分益	41	41
特別損失		
固定資産処分損	55	55
税引前中間純利益		6,329
法人税、住民税及び事業税		43
法人税等調整額		1,431
中間純利益		4,855



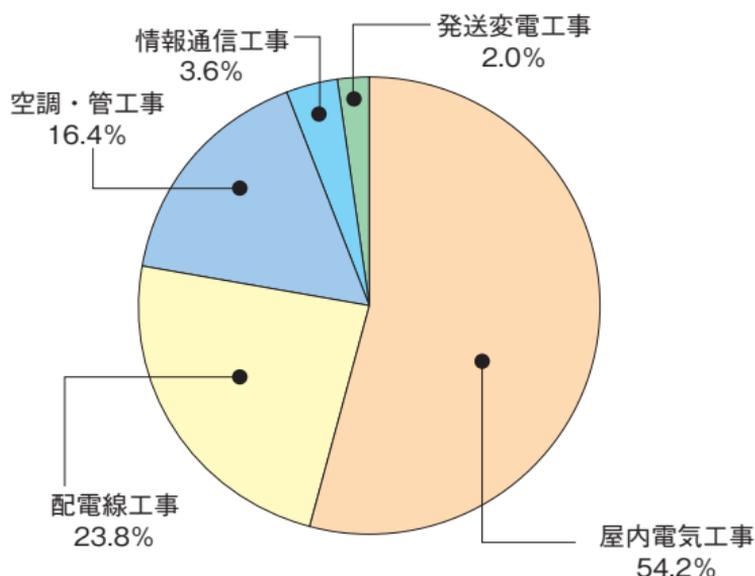
当中間期の受注高・売上高・繰越高（個別）

単位：百万円(未満切捨)

区 分	前 期 繰越高	当中間期 受 注 高 (前年中間期比)	当中間期 売 上 高 (前年中間期比)	下 半 期 繰越高 (前年中間期比)
屋内電気工事	38,174	49,114 (122.3%)	30,484 (119.0%)	56,804 (120.1%)
空調・管工事	10,951	13,851 (119.8%)	9,186 (146.3%)	15,616 (119.3%)
情報通信工事	2,575	1,895 (63.6%)	2,045 (85.9%)	2,425 (73.7%)
配電線工事	389	13,599 (104.8%)	13,372 (105.1%)	616 (110.6%)
発送変電工事	1,323	2,939 (120.4%)	1,112 (87.5%)	3,150 (131.5%)
合 計	53,414	81,400 (116.1%)	56,201 (116.4%)	78,613 (118.0%)



工事種別売上高構成比（個別）





会社の概要

(平成26年9月30日現在)

本店の所在地	広島市中区小網町6番12号 〒730-0855 ☎(082)291-7411(代表)
会社設立年月日	昭和19年9月29日
資本金	34億8,190万5,850円
発行済株式の総数	6,513万8,117株
事業場数	119か所
従業員数	3,596名
事業目的	1.電気工事 2.電気通信工事 3.空調、冷暖房、給排水、衛生および環境汚染防止装置等の管工事 4.水道施設工事 5.防災設備、消防施設工事 6.鋼構造物工事 7.土木工事 8.建築工事 9.ほ装工事 10.電気機械器具類、機械装置類および建設用資材 工具類の製造、販売、修理、設置工事および賃貸 11.電気通信事業 12.ソフトウェアおよび情報処理システム の企画、開発、販売、賃貸、運用および保守 13.建築物の設計および工事監理 14.前各号に関連する エンジニアリング、コンサルティングおよびメンテナンス業務 15.警備業 16.貨物運送業 17.不動産の売買、賃貸、仲介 および管理 18.前各号に付帯または関連する一切の事業



役員

(平成26年9月30日現在)

代表取締役会長	神出 亨
代表取締役社長	小畑 博文
代表取締役副社長兼執行役員	峰 賢一
代表取締役専務兼執行役員	畝 由紀男
常務取締役兼執行役員	法宗 亨昭
常務取締役兼執行役員	金山 幸
常務取締役兼執行役員	四方田 茂
常務取締役兼執行役員	國木 恒久
取締役兼執行役員	西村 康一
取締役兼執行役員	伊藤 聖彦
取締役兼執行役員	堤 孝信
取締役兼執行役員	緒方 秀文
取締役(社外取締役)	榎田 好一
常任監査役	赤丸 達治
常任監査役	味村 節夫
監査役(社外監査役)	白井 龍一郎
監査役(社外監査役)	信末 一之



創立70周年記念行事トピックス

(平成26年4月～平成26年9月)

平成26年10月1日、当社はおかげさまで創立70周年を迎えました。株主さま・お客さま・地域社会の皆さまからの長きにわたる変わらぬご愛顧に対し、感謝の意をお伝えすることを目的として、「おかげさまで70周年 新たなステージへ」をスローガンに掲げて、平成26年4月から1年間、さまざまな記念行事に取り組んでいます。

◆記念ロゴマークを制作

従業員からデザインを募集し、記念ロゴマークを制作しました。

平成26年4月から1年間、襟章・名刺・ポスター等で活用しています。



▲記念襟章



記念ポスター▶

◆マツダスタジアム広島へ屋外時計塔を寄贈

平成26年4月、広島東洋カープの本拠地であるMAZDA Zoom-Zoomスタジアム広島の正面入口前に太陽電池式電波時計塔を寄贈しました。

時計の高さは約6m、太陽光発電を電源として夜間にLED照明が点灯し、文字盤を照らします。その文字盤には「Carp」等のロゴに加え、長針にバット、短針にボールをデザインし、球場にマッチさせました。



▲除幕式典の様子



▲バットとボールが時刻を告げる文字盤

◆「ひろしまマイスター」(当社従業員)による出張授業

平成26年6～7月、広島県、岡山県、山口県および鳥取県の工業高校において、「ひろしまマイスター」に認定された当社従業員が実技指導を交えた出張授業を実施しました。

12月には島根県の工業高校でも出張授業を予定しています。



▲出張授業を行うひろしまマイスターの当社従業員▲

◆新テレビコマーシャルを放映

平成26年7月、新テレビコマーシャル「あなたと明日へ」の放映を開始しました。

記念ポスターに掲げたメッセージ「電気・水道・情報通信などのライフラインを支え、地球に優しい省エネ設備や効率の良いシステムをご提案。調和のとれた快適な暮らしをデザインする“中電工”」をコンセプトに、ストーリー展開しています。



◆地域社会奉仕活動と記念キャンペーンを実施

平成26年9～11月、各事業場が地域（公園・公共施設等）の清掃活動や電気・空調設備の点検等を行う地域奉仕活動と家庭用の太陽光発電設備や高効率機器等を特別価格で提供する70周年記念お買得キャンペーンに取り組んでいます。



▲JR可部駅前の清掃
(可部営業所)



▲高所作業車を使った屋外照明灯の清掃
(安芸太田営業所)



▲展示会開催（広島東部支社）▲



トピックス

(平成26年4月～平成26年9月)

◆文部大臣表彰・創意工夫功労者賞を受賞

平成26年4月、電力本部 配電部の森田英夫さんが文部科学大臣・創意工夫功労者賞を受賞しました。

これは「携帯ウインチの遠隔操作装置」の考案が、作業現場の安全性と作業効率向上に貢献したと認められたものです。

広島県庁で行われた伝達式では、湯崎広島県知事から賞状が授与されました。



▲湯崎広島県知事から表彰を受ける森田さん

◆JECA FAIR 2014に出展

平成26年5月28～30日までの3日間、インテックス大阪で開催された日本最大級の総合展示会「JECA FAIR 2014 (第62回電設工業展)」に出展しました。

出展ブースを「安全」、「快適生活」、「環境」の3つのゾーンに分け、自社開発した製品や施工事例等を紹介しました。

また、プレゼンテーションでは指定範囲監視システム「エリアセーブ」を実演・紹介するとともに、昨年の技能五輪で銀メダルに輝いた野田選手のメダル・写真の展示と、創立70周年を振り返るスライド上映を行いました。



▲ブースの様子



▲「エリアセーブ」の実演・紹介

◆地域環境保全活動

「環境月間」(6月)に、省エネ・省資源活動の啓発や地域清掃などの環境保全活動に取り組みました。

全店で37件、476人の従業員が精力的に活動しました。



▲山白川の清掃
(鳥取統括支社)



▲郡山史跡の清掃 (安芸高田営業所)

◆安来市と協定を締結

平成26年6月、当社と島根県安来市とは、住民サービスの向上、地域活性化、行政効率の向上を目的に、同市全域に張り巡らされた情報通信網と当社の知識・技術を活用したシステムを共同開発するため、協定を締結しました。

これにより、行政ニーズに素早く対応できるシステムの開発が期待されています。

協定締結式には、安来市の近藤市長、神出社長（当時）が出席し、締結書に調印しました。



▲近藤安来市長と神出社長（当時、右）

◆「ひろしまマイスター」に認定



▲藤田さん（左）と湯崎広島県知事

平成26年8月、電力本部 配電部の藤田進さんが「ひろしまマイスター（電気工事）」に認定されました。

これは藤田さんが、高圧配電線工事において絶縁操作工具を用いる間接活線工法に熟練し、この工法の推進と安全性・作業性の向上に貢献するとともに、実技部門の指導員として、当社での人材育成への貢献が評価されたものです。

広島県庁で行われた認定式では、湯崎広島県知事から認定証が授与されました。

◆広島土砂災害への復旧対応

平成26年8月、広島市北部で発生した集中豪雨による大規模土砂災害への復旧対応で、当社は可部営業所、安佐南営業所が中心となり、県内外から駆けつけた応援班や協力会社とともに、倒壊・流出した電柱の建替えや架線等に取り組み、電力設備の復旧に努めました。

また、中電工グループは、被災者の復旧・復興に役立ててもらうため、9月10日に広島市へ義援金を寄贈しました。



▲広島市役所にて義援金を寄贈する
緒方取締役総務部長（右）



▲復旧作業の様子

株 主 メ モ

決 算 期 日	毎年3月31日
定時株主総会開催時期	毎年6月中
同総会権利行使株主確定日	毎年3月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所

〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

問合せ・郵便物送付先

三菱UFJ信託銀行株式会社

〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

電話 0120-094-777(通話料無料)

自動音声応答サービス

0120-684-479(通話料無料)

インターネットアドレス

<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

特別口座に記録された株式についてのお手続用紙（届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等）のご請求につきましては、お電話およびインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

公 告 方 法

電子公告により、当社ホームページ (<http://www.chudenko.co.jp/info/topic/news.html>) に掲載いたします。

ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、広島市において発行する中国新聞並びに日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所

株式会社東京証券取引所

(ご注意)

1. 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

重要なお知らせ

特別口座の株主さまへ

株券電子化により、すべての上場会社の株式は、証券会社等の口座で電子的に管理されるようになりました。株券電子化移行時点で、証券会社を通じ株券を「株式会社証券保管振替機構」に預けられていなかった株式、あるいは単元未満登録株式等株券が発行されていない株式など、**証券会社の株主さまの口座で電子的に管理されなかった株式は**、株主権保護のため、当社が株主さま名義で三菱UFJ信託銀行に開設した特別口座にて電子的に管理しています。

しかしながら、**特別口座に記録された株式は**、このままでは証券市場での売却等ができないばかりか、相続手続きが煩雑になるなど制約がございます。

つきましては、次の当社特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行へご連絡のうえ、「口座振替申請」のお手続きを行っていただきますようお願いいたします。

特別口座 口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

0120-094-777 (通話料無料)

(ご注意)

このお知らせは、口座振替申請等を強制するものではありません。本手続きに際しましては、株主さまご自身でご判断くださいますようお願いいたします。

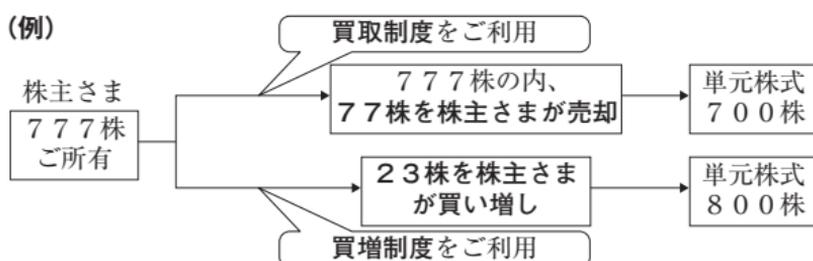
重要なお知らせ

単元未満株式（100株未満の株式）をお持ちの株主さまへ

当社の株式は、100株が1単元（売買単位）となっており、100株に満たない株式（単元未満株式）は、市場で売却することができません。

単元未満株式は、当社に対して買取請求（売却する）、または買増請求（買い増して100株にする）ができますので、ご検討いただきますようお願いいたします。

(例)



【お問合せ・ご請求先】

- ① 証券会社に単元未満株式をご所有の株主さま
株主さまの口座がある証券会社
- ② 特別口座に単元未満株式をご所有の株主さま
特別口座 口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

0120-094-777 (通話料無料)

(ご注意)

このお知らせは、買取請求等を強制するものではありません。本手続きに際しましては、株主さまご自身でご判断くださいますようお願いいたします。



株式会社 **中電工**

〒730-0855

広島市中区小網町6番12号

<http://www.chudenko.co.jp>
